

下町訪ね歩き

今回は菖蒲園です。

葛飾区の堀切のあたりの道は狭く入り組んでいます。昔の田畑の名残なのでしょうが。

かつてこのあたりにはいくつもの菖蒲園がありました。持ち主だった小高家の尽力で残ったのが江戸名所としても有名な堀切菖蒲園です（のちに都が買い上げ、現在では葛飾区が管理、入場無料）。

ボランティアさんたちの努力もあって江戸系と呼ばれるものを中心に約 200 種 6000 株の花菖蒲が時季には咲き誇ります。通路は少し狭めですが、花菖蒲一株一株をじっくり楽しみたい方にはおすすめ（6月25日まで菖蒲まつりです）。

なお水郷の雰囲気を残す水元公園には 100 種 14000 株で壮大な眺め。



江戸川沿いの小岩菖蒲園は歴史は浅いですが、実は戦国の世には古戦場、牧野富太郎博士のムジナモ（絶滅した食虫植物）発見の地（石碑あり）でもあり、柴又にも近く、さらに広々とした園内で 50000 本の花菖蒲と、車いすでのんびり楽しむにはおすすめのスポットです。広い芝生や四阿（あずまや）もあり、虫とりの園児たちにめぐりあうこともあります。あじさいや秋の七草もたのしむことができます。なによりなのは駐車場がとなりあわせなのです。